

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパン・センタービル空調等更新工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部産業デジタル推進課 I T 抱点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3723)

E-mail : c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 610 千円 (前年度予算額： 50,810 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	50,810	0	0	0	0	0	0	45,700
要求額	610	0	0	0	0	0	0	500
決定額								110

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

ソフトピアジャパンセンタービルは、竣工後30年を迎え、設備の経年劣化が進行。

空気調和機では、システムの制御系を中心に故障が頻発しているが、修理部品の供給が終了しており、修理が困難な状態である。また、入居者居室内の照明設備も経年劣化による安定器等の損傷が増えており、既に蛍光灯部品の製造を終了したメーカーもあることから、故障した場合の修繕が困難になりつつある。

空調や照明が使用できなくなった場合、適正な室内環境を維持できなくなり、施設の運営に大きな支障をきたすため、早急に更新する必要がある。

なお、空調室内機が天井照明と一体となっており、空調設備を更新する際には照明も含めた室内工事及び電気工事が必要となる。また、センタービルは大規模施設であり入居企業が居ながら施工となるため、一度に更新対象となるすべての空気調和機を更新するのは不可能であり、施工計画を緻密に立てる必要がある。

(2) 事業内容

岐阜県県有建物長寿命化計画にもとづき、更新に向けて、令和5年度に基本設計を、令和7年度に実施設計を行った。今後は、令和8年度に設計単価の入れ替え業務などの入札準備を行ったのち、令和9年度から令和13年度にかけて更新工事をしていく。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	610	実施設計の単価入れ替え
合計	610	
決定額の考え方		

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

III 各分野のDX

10 産業・労働

- (1) デジタル化の段階に応じた支援によるデジタル技術活用の裾野拡大
- (3) デジタル産業の強化・誘致推進

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

令和8年度当初予算

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

経年劣化等に伴う設備の更新及び修繕が年々増加している中、法令遵守、安全確保、不具合時の利用者影響度などから優先順位を付け設備の更新や修繕を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備等の更新工事であり、具体的な達成目標を設定できない。

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	基本設計
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要である。
-----------	------------------------------------

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	必要最低限の修繕により施設の維持管理を行っている。
-----------	---------------------------

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	中長期保全計画を作成し、また、指定管理者と連携を密にとり、優先順位の高く必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。
-----------	--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

施設の利用率や不具合の影響度などから優先順位を決め、順に維持する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	